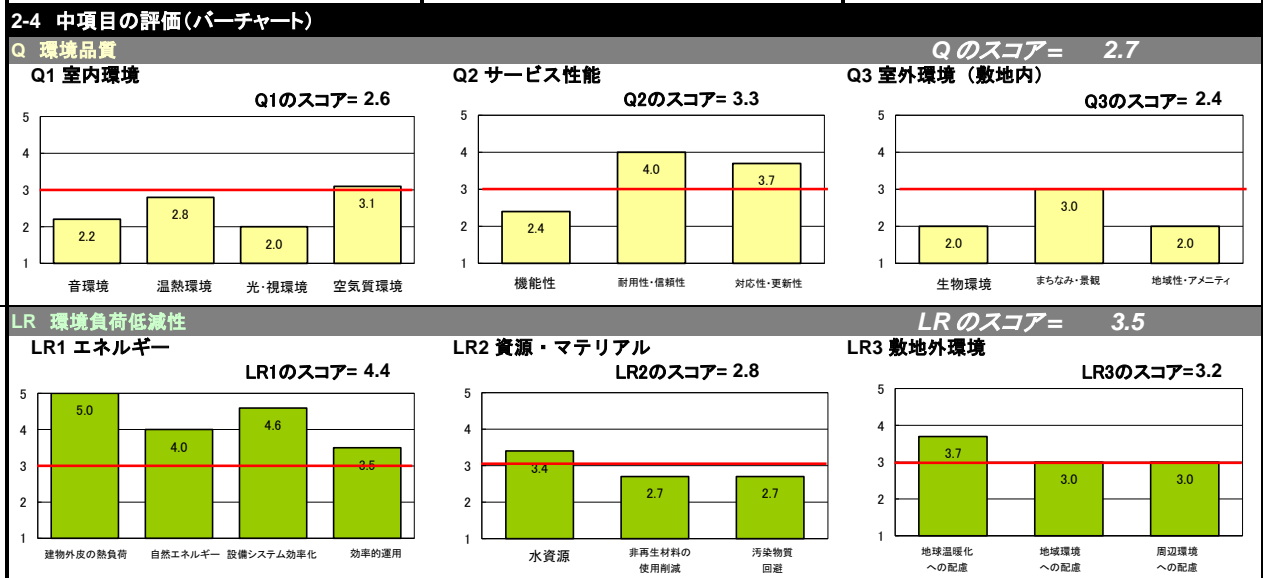
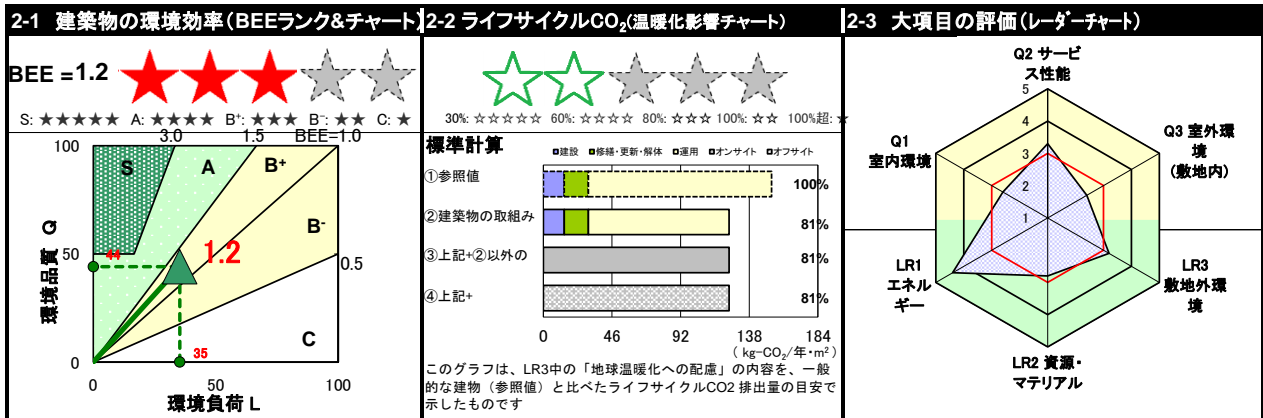


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	船越庁舎	階数	地上6F,地下2階
建設地	横須賀市船越町7丁目71番1、他	構造	SRC造
用途地域	工業地域	平均居住人員	750 人
地域区分	6地域	年間使用時間	3,000 時間/年
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年3月 予定	評価の実施日	2016年9月7日
敷地面積	23,678 m ²	作成者	株式会社 山下設計
建築面積	5,079 m ²	確認日	2016年10月13日
延床面積	35,753 m ²	確認者	株式会社 山下設計



3 設計上の配慮事項	
総合	海上自衛隊の庁舎として、周辺環境、環境性能、耐久性、堅牢性に配慮し、維持管理しやすい施設とする。
その他	0
Q1 室内環境	機械室等の騒音発生源や会議室等、室用途に適した音環境となるよう間仕切り、家具類の仕様で配慮した。
Q2 サービス性能	OAフロアの設置や乾式間仕切りの採用により事務所のフレキシビリティに配慮した。電力供給設備の信頼性向上対策として、電源供給ルートを二重化した。災害時の通信手段が確保されている。
Q3 室外環境 (敷地内)	植栽の設置を行うとともに、庁舎を周辺住宅街から離れた位置に配置することにより、周辺地域への影響を少なくする計画とした。
LR1 エネルギー	外壁窓を適正な大きさとし、複層ガラスの採用により外皮性能の向上を図った。
LR2 資源・マテリアル	節水型便器の採用。
LR3 敷地外環境	屋上機械機器類の騒音の抑制のため屋上に幕板を設置。漏れ光をおさえ効率的な配光の照明器具を採用。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される